



# あしべつ

# 市議会だより

2016年  
12月1日  
No. 1

芦別市議会ホームページ <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/gikaijimu/gikai.html>



芦別小学校2年1組と2組の児童の皆さんが、社会科の授業の一環として、芦別市議会本会議場を見学に訪れてくれました。

「市議会って、どんなお仕事をされるんですか?」「大変じゃないですか?」などの質問に、日沼昇光議長が丁寧に答えていました。



## 発行にあたって

芦別市議会議長 日沼 昇光

市民の皆様には、平素から市議会に對しまして、ご理解とご協力を賜っておりますことに議員一同、心から感謝申し上げます。

今回芦別市議会では、市議会だよりを9年ぶりで復活することになりました。

議会は、何を、どんなことを議論し、審議しているか、また、議員は日常的にどんな活動をしているかをお知らせし、市民の皆様は、これまで以上に、ご理解とご支援をいただきたく、市議会だよりの発行の運びとなった次第であります。

この市議会だよりは、議員自らが作成、編集しており、年4回開催される市議会定例会の情報などを市民の皆様にお伝えする予定です。

市民の皆様にとって、待ち遠しいと感じられるような読みやすい紙面づくりに努めてまいりたいと考えております。

今後とも市民の皆様への情報発信と開かれた議会を目指してまいりますので、市議会に對し、一層の協力を賜りますようお願い申し上げます。発行にあたってのご挨拶とさせていただきます。

### 主な内容

- ◎ 特集 (株)芦別振興公社の経営問題について…………… 2
- ◎ 9月定例会一般質問…………… 3～5
- ◎ 議会運営委員会の行政視察調査報告…………… 6

# 株別振興公社の経営問題について

現在、芦別市健民センターの施設の経営・管理の委託を受けている指定管理者である「株別振興公社」

は、昭和47年10月芦別温泉開設以来

今日まで、経営管理・業務委託を継続して受託運営しています。現在受託する市有施設は、温泉会計（芦別温泉・ホテル・国民宿舎・星遊館・焼肉ガーデン・油谷体育館管理運営）、陶芸センター会計、事業会計（健民センター園地・花木園・旭ヶ丘公園・2つのオートキャンプ場・カナディアンワールド公園・国設スキー場・滝里ダム防災施設等の管理運営）、物産会計（道の駅等管理運営）、加工室会計（農産物加工施設管理運営）の5部門に及んでいます。

方針」が示されました。

## 現状認識と見直し方針

5部門に分けて経営管理・業務委託を受けている事業内容に関わる平成27年度決算では、営業利益がマイナス8472万6千円となりました。この最大の原因は、温泉会計における営業利益マイナス1億2040万4千円が大きく影響しているところであり、既に総額2億2千万円を貸付けている状況では、このような損失が続く経営状況は看過できるものではなく、自立経営の確立を図るため、抜本的な見直しを行った結果、大きな損失を出している「温泉会計事業」について公社委託事業から切り離し、指定管理者を民間企業に変更するとの提案内容でありました。

## これまでの経過

本年3月議会中に行われた「全員協議会」における市長の発言、「9月には最終的な経営判断を示したい」とした約束に基づき、9月議会を前にした9月2日の特別委員会で次のような「事業見直し

川本社長（当時）を含む取締役を再任せず、新たに多額の報酬をもって三柳氏を新社長に、新設の専務職に門田氏（元社長）を就任させる人事を行う等、申入れに対し何の説明・報告も無く、今野市長は、議会との間に軋轢を生じさせる姿勢でのスタートとなりました。

公社経営は、赤字額の縮小を掲げた事業計画に対し、事業の見直し等を図るなどしつつも、前経営の後始末に時間も費用もかかり、突然の専務退任劇もあり、収支均衡の経営状態に戻すことは困難な状況に陥り、9月には経営資金不足、老朽化著しい2台の送迎バス購入費及びホテルシステム（コンピューター）更新費用合わせて、9500万円の新たな貸付を求め、10月の臨時議会において止む無くこれを認めました。これ以降、代表・一般質問、常任委員会、特別委員会の質疑では、「公社の在り方の抜本的見直し」、「ホテル他施設売却、指定管理者の変更を視野に入れた経営改善策」、「現経営陣の経営責任の明確化」等について早急に対応すべきとの意見に対し、今野市

市長選挙後の平成27年5月の公社株主総会において、市長就任早々に議会の総意とした3点（公社トップ人事他）の申し入れに対し、これを全く無視する形で、任期満了となる

長は、「多くの雇用を抱え、地域の財産でもあり、何としても経営立て直しをする」との答弁に終始、本年9月を迎えたのであります。

## 貸付金の借換提案

### 全会一致で否決

9月議会最終日には、昨年10月に公社に貸付けた9500万円について同額の借換措置を求める補正予算の提案がありましたが、「返済の当たらない貸付金を再度貸付けることに対する疑義」、「現経営陣の経営責任、最高責任者としての今野市長の責任を問う」厳しい質疑が交わされ、借換措置は認められないとし、「予算修正動議」が提案され、全会一致で修正案を可決するに至りました。このことは、不信任案に匹敵する議会の総意を示したものであり、今野市長の猛省を促し、最高責任者としての姿勢（公社社長解任・市長の社長就任）を明確にし、公社経営再建を進めることを求めたものであります。公社経営に関わる課題は、「温泉会計事業」を民間企業へ変更するだけで解決するものではなく、貸付金の取扱いを含む平成28年度の経営状況の把握、更には、今後の公社の有り様についての論議等未解決の課題はまだまだであります。

この特集記事は、9月末現在のものです。10月以降の経過は、2月1日発行の市議会だよりにて掲載予定です。

## 9月定例会一般質問



市民連合議員団  
小川 政憲 議員

### 普通交付税の 本算定結果について

基準財政需要額の個別

#### 質問

算定経費において当初予算比で2億1452万円の大増額となった具体的要因について伺う。

#### 答弁

今年度から、算定基礎として多くの費目に用いられる人口が平成27年度国勢調査に基づく人口（前対比1942人減少）に置き換えられることを考慮し、前年度対比5.5%減で見込んだが、算定の結果、国調人口の減少の影響を緩和するため、人口を用いる費目を減らし、人口急減補正の拡充等による措置が講じられたことから、当初予算に比して交付額が増となった。

#### 質問

今年度新たに算定経費に導入された「※」トップランナー方式」による本市への影響額について伺う。

※トップランナー方式 地方公共団体の改革対象業務として23業務を指

定、民間委託や集約化等改革を進めていない自治体の単位費用を減少させて算定される試み。

#### 答弁

平成28年度は16業務（学校用務員事務・道路維持補修業務ほか）が対象とされ、単位費用の減少額が示されている項目に関わる本市の基準財政需要額は1480万円減少となっている。

### 道の駅施設の リニューアルについて

#### 質問

駐車場拡幅工事後の売り上げへの反映について伺う。

#### 答弁

本年度7月までの入り込みを比較し、トイレ及び物産センターの利用者、入館者数は前年同期比1万2988人増加している。かあちゃん市ほか直売所の利用者では1185人の減少、売店は471人の減少、レストランでは1184人の増加で、売り上げは171万5千円増加している。駐車場リニューアルの効果は上がっていると考えている。

#### 質問

本市の玄関口として情報の発信、観光拠点である道の駅施設、設備のリニューアルのための一定の投資は不可欠ではないのか。

#### 答弁

整備は最低限の維持補修にとどめ、エレベーター設置や便器の洋式化等のリニューアルは財政状況を考慮しながら更に検討させていただきたい。



政 風 会  
北村 真 議員

### 芦別振興公社の今後について

#### 質問

振興公社の経営問題に関する公式な総括を行うお考えはあるのか伺う。

#### 答弁

昨年の市長選挙において振興公社の健全な経営を旨とし、第二のカナディアンワールドにしないための最善の努力をすることを公約の一つとして当選したことは事実。市長就任後は、早急に経営陣を刷新し、新たな社長を迎え、経営改善を図り、市民の憩いの場、癒しの場として、市民に愛される温泉になるよう対応を図った。新社長においては経費削減に努め、新たな総料理長を迎えた中でメニューの見直しや半額フェアの実施など、集客

#### 質問

現社長の体制にしたこと、指定管理者の変更という大きな方向転換に至らしたところなどの市長自身の責任問題について伺う。

#### 答弁

私の判断で現社長の体制とし、さらに、指定管理者の変更という大きな方針転換を行った私の責任について、経営改善を図るには早急に経営陣を刷新する必要があると判断したが、思うように経営を好転させることができない状況となり、今回の指定管理者の変更という方針へ転換しなくてはならない状態になったことについては、市議会議員をはじめ、市民の皆様にも深くお詫び申し上げます。



新星クラブ  
石川 洋一 議員

道の駅の集客について

質問

道の駅での地域イベント・休息設備の設置・その他の設備に関して伺う。

答弁

市民や団体から道の駅を活用したイベントの相談や希望がなかったこともあるが、市として積極的にアプローチをしながら、今後、より積極的な対応を図っていく。物産センター入口の左側にベンチ2組を新たに設置。既存のベンチを含め数が不足していると感じている。他施設において使用していないベンチの活用を含め、ベンチを設置するよう進めてまいりたい。施設案内板の変更について、ま

空知川ゴルフ公社について

質問

ゴルフ場に関し、ホームページによるサービス

内容の積極的な周知とカート代込みの料金設定について伺う。

答弁

ホームページ上でのサービス周知とカート代込みの料金設定にすることにより、集客増につながるものと考え、ゴルフ公社において検討を要請する。



新星クラブ  
瀧 仁美 議員

薬物乱用の防止について

質問

現代社会において決して無くなることはないのが薬物事案と言われている。当市において薬物の恐ろしさを義務教育の過程においてどのように指導されているのか伺う。

答弁

学校ごとに取り組み方は違うが全ての学校で指導を行っている。小学校では、総合学習の時間や保健の授業で、薬物の定義と薬物が体に害を及ぼし死にいたる危険性、薬物乱用は犯罪や事故など社会的事件を引き起こすため法律で禁じられていることを指導。中

学校では、保健体育で喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について指導。道徳の時間では外部講師を招いて薬物乱用教室を実施。保護者にも授業を公開することで家庭との連携を図る取り組みも行われている。今後も中学校において薬物乱用の有害性や危険性など、児童生徒の発達段階に応じた教育指導を継続していきたい。



党 明 公  
吉田 博子 議員

芦別振興公社の

今後の方向性について

質問

新たな指定管理者が担う事業は、大きな損失を出している「温泉会計」として「物産会計」は観光物産センターの収益的事業を担う会計のため、温泉会計とセットで委託すべきではないか。また、指定管理者の公募に応じる民間企業がなかった場合の対応を伺う。

答弁

現在まで、接触のある企業からは、温泉やホテル運営の関心は示されているが、観

光物産センターの運営については言及されていないため、物産会計は運営状況を見ながら今後検討していかなければならない課題である。

応募する民間企業がなかった場合、公募期間延長などが考えられるが、目標の平成29年4月1日の指定管理者変更は難しくなるため、当面は、芦別振興公社に運営を継続してもらうことになる。(その後、指定管理者の応募あり)

被災者支援システムの導入について

質問

奈良県平群町では、住民基本台帳、家屋、要援護者、地震情報のデータを一元化した「被災者支援システム」を導入しているが、本市も導入すべきでは。

答弁

本システムは、災害時における罹災証明の迅速な発行や国などの災害補償費の給付金を被災者の口座に直接振り込むことを目的としているため、災害前に、市民に対して口座番号等の提出を求める必要がある、システムの更新作業、セキュリティに対する対応など具体的な執り進め方なども検討していく必要があるため、今すぐ取り組みを進められないことをご理解願いたい。

## 9月定例会一般質問



創政会  
田森 良隆 議員

### 桜川都市下水路の維持管理について

#### 質問

桜川都市下水路は、ひばり団地から単身者住宅、旧総合技術高校までの約3<sup>㍓</sup>にわたり、雨水施設として昭和53年12月に着工した。昭和37年芦別駅横の浸水、41年集中豪雨、駅前商店街、寿通り床下浸水、56年には高根入口国道38号浸水、見返り橋、西芦別商店街、旭町精療院横の道路崩壊、本市の災害対策として三角山方面から流れてくる大雨による被害を食い止めるため、特に市街に流れないように造られたもの。今年8月、市内業者の方からの強い助言があり、施設の現地確認を行ったが、枝葉の詰まり、ペットボトルや冷蔵庫の粗大ごみ等が散乱しており、このままでは大雨時、街中への被害が予想される。災害対策として、早急に対応すべきではないのか。

#### 答弁

桜川都市下水路は現在「空知川1の1号幹線」



桜川都市下水路（現在の名称は空知川1の1号幹線）の施工前（写真右）と施工後

に名称を変更しており、この幹線は全長3<sup>㍓</sup>の間で開渠区間と管渠区間を対象に現地確認を行った。今年度については、現地確認の際に水路内の堆積物が認められたことから、一定区間について機械による除去作業を行った。今後の維持管理については、計画的な施設点検を実施するとともに、必要に応じて堆積物を除去する等の適切な維持管理に努めたい。



日本共産党  
松井 邦男 議員

### 生活交通路線維持対策について

#### 質問

10月からのキラキラバス運行は、事業者の収益事業から市の委託事業に大転換した。本来市長は経過と転換方策の選択肢を説明し議会で同意を得るべきではないか。

#### 答弁

常任委員会の中で説明をしてきている。この方は札幌運輸支局からの助言を受け、患庭市を参考にした。運行形態の変更は市費負担の合理性、透明性を確保し、市民の足を守るため市が事業、経営の主体となるもの。5年間契約であるが、契約内容及び契約額は情勢に応じ、その都度協議する。

### 生活保護行政について

#### 質問

厚生労働省は、生活保護世帯に一年一度一律に預貯金通帳残高の提示を求めた。保護世帯の保護費は預貯金できるほどの金額ではない。通帳は大切なプラ

イバシー。国は調査に応じないことを理由に保護の廃止はしないというが、本市においてはどうか。

#### 答弁

年一回預貯金等の資産状況を適切に把握し、生活保護制度の適正実施を図るため、生活保護受給者から通帳残高の報告を求めるもの。本市では今年4月から家庭訪問時に資産申告書の提出は任意であることの説明をし、本人の同意を得てから預貯金残高の確認を行っている。

いずれも多額の残高はなく冷蔵庫や洗濯機など家財道具の買い替えに備えてのもの。事前の文書通知は出さないが人権侵害と受け取られないよう配慮している。

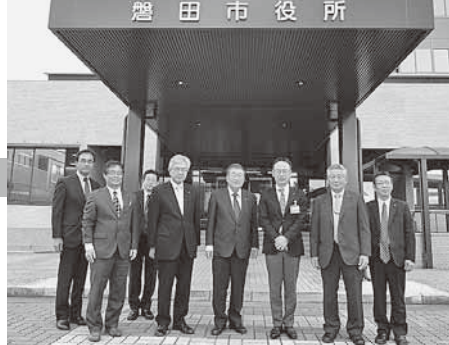
### 教員の部活動参加と長時間勤務について

#### 質問

小中学校での教員の部活動参加と長時間勤務の現状、教員の負担軽減について伺う。

#### 答弁

学校ごとに部活動参加状況は異なるが、全ての部活動に休養日を設けている。教員の残業状況は管理職の目視等により確認。事務改善と効率化により長時間勤務の負担軽減に努めている。



# 議会運営委員会の行政視察調査報告

議会運営委員会委員長 池田 勝利

本委員会では、10月に静岡県静岡市と静岡県磐田市を訪問し行政視察調査を行いました。

静岡県静岡市では、全国市議会議長会研究フォーラムに参加し、テーマである議会の監視権に係る議論を拝聴してきました。議論の中で、自治体が行う政策や制度を市民にとつてよりよいものにするというのが住民福祉の向上につながるものであり、議会は議会の権能を使って、自治体が責任を持って行う政策や制度が市民の期待にかなうものになるように制御するというのが役目だろうと、また一方の議論では、日本の地方議会が抱える一つの課題として監

視権をどう行使するか。そもそも議会は何のために存在するのか。少なくとも首長の独裁的な行政が行われないように広く住民の目で、いろいろな方の代表が、それをチェックしながら修正し、正しい市政の方向に導いていくというのが議会の一つの基本的な役割となっていると述べるところが、改めて議会の役割の重要性を再認識しました。

次に、静岡県磐田市においては、議会改革（議会基本条例の運用と検証、議会報告会、議会中継）の取り組みについて視察調査を行いました。その中で、議会報告会の内容を市民に周知する議会だよりについては、市民に手に取って見てもらえる

ようなデザイン、レイアウトにしていこうということで、今年から市民の声を聴く特集ページを設け、紙面の全面リニューアルをしているところなど、本市が今回、議会だよりを9年ぶりで復活するうえで大変参考になりました。

今後の議会運営委員会の活動につきまして、活発な議会運営を目指して深く議論を重ね、積極的に調査研究を行っていきたいと考えています。

## 議員の辞職について

芦別市議会議員 滝勝美氏から一身上の都合により議員の辞職願が提出され、11月4日付けで議長が許可しましたので、お知らせします。

なお、今回の辞職に伴う補欠議員選挙は、公職選挙法の規定に基づき、実施の予定はありません。

## 編集後記

昨年の統一地方選挙から早くも1年半が過ぎました。新人議員も5人当選し、芦別市議会も大きく変わろうとしております。昨年12月には、気軽に議会を傍聴して頂こうと、議場横休憩所において議会モニター中継を始めました。また、今回は9年ぶりとなる議会広報誌も復活させることとなり、より多くの情報を提供しよう努力してまいります。更に、去る11月19日には2回目となる「議会報告会」を開催し、多くの市民の方にご来場いただき、芦別の諸問題を大いに議論させていただいたところでございます。

これからも「開かれた議会・わかりやすい議会」を目指して議員全員で改革を進めていく所存であります。市民の皆様におかれましても、ぜひ積極的に参加して意見を言っていただぎ、共に協働のまちづくりを進めていければと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。(大橋)

### 芦別市議会広報広聴委員会

- 委員長 小川政憲
- 副委員長 石川洋一
- 委員 池田勝利、大橋二朗、北村真、松井邦男、吉田博子

## 議会の動き

平成28年 8月～10月

### 【8月】

- 1日 第6回市議会(臨時会)  
社会産業常任委員会
- 17日 議会運営委員会  
総務常任委員会
- 25日 第7回市議会(臨時会)

### 【9月】

- 1日 議会運営委員会
- 2日 ㈱芦別振興公社経営問題調査特別委員会  
社会産業常任委員会作況調査
- 8日～26日 第8回市議会(定例会)
- 14日 総務常任委員会
- 15日 社会産業常任委員会
- 16日 決算審査特別委員会(16日、20日、21日、23日)  
㈱芦別振興公社経営問題調査特別委員会
- 26日 ㈱芦別振興公社経営問題調査特別委員会

### 【10月】

- 7日 総務常任委員会
- 17日 議会改革特別委員会  
㈱芦別振興公社経営問題調査特別委員会
- 18日～21日  
議会運営委員会行政視察調査
- 24日 総務常任委員会学校視察(芦小・芦中)
- 26日 広報広聴委員会

## 12月定例市議会のお知らせ

- 会期 12月8日(木)～16日(金)
- 日程 8日(木)本会議(議案の提案)、12日(月)・13日(火)本会議(一般質問)、14日(水)・15日(木)常任委員会、16日(金)本会議(議案の議決)
- 開会時間 いずれも午前10時から
- ※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります